

## 5. 見直しのポイント

### 精神保健医療対策

#### 〈全医療圏共通事項〉

- ◎ 「予防・アクセス」、「治療・回復・社会復帰」、「精神科救急」、「身体合併症」、「専門医療」、「うつ病」、「認知症」のそれぞれの病期や医療機能ごとに現状と課題、それに対応した医療体制のあり方について記述。

(主な記載内容)

- ・精神科医療へ早期につなぐG-Pネット（一般医と精神科医が連携した患者紹介システム）の利用促進
- ・精神科デイ・ケアやアウトリーチ（訪問診療、訪問看護等）など地域生活支援機能の充実
- ・精神科救急医療体制の強化
- ・認知症疾患医療センターを中心とした医療体制の構築

#### 〈当医療圏計画における特記事項〉

- かかりつけ医が、うつ病・認知症患者を精神科医等に紹介する際にイントラネット で情報を提供する体制を岡崎市医師会が整備している取組について記述。

### 災害医療対策

#### 〈全医療圏共通事項〉

- ◎ 東日本大震災を受けて、新たに定められた国の災害拠点病院指定要件を踏まえ、地域医療再生基金を活用して災害拠点病院の機能強化を図ることについて記述。

- ◎ 大規模災害に備えた「平常時における対策」「発生直後から72時間程度まで」「72時間から5日間程度まで」「5日目程度以降」のそれぞれの段階において実施する対策や、必要な体制の整備、医療関係者や市町村、保健所等が果たすべき役割について記述。

(主な記載内容)

- ・2次医療圏単位で地域災害医療に関する調整を担う「地域災害医療対策会議」を保健所に設置し、災害医療コーディネート体制を構築
- ・大規模災害を想定した訓練の定期的な実施

## がん対策

### 〈全医療圏共通事項〉

- ◎ 就労等の社会生活を継続しながら、外来でがん治療や緩和ケアが受けられる体制づくりについて記述するとともに、医療連携体系図に外来医療（化学療法、緩和ケア、放射線療法）を位置づけ。
- ◎ 女性が検診や治療を受けやすい環境づくりについて記述。

## その他

### 〈当医療圏計画における特記事項〉

- 前回の見直しで、医療圏が2つに分割されたことにより、この医療圏での医療機能や医療資源の不足について記述。
- この医療圏での病診連携推進対策として、地域連携クリニカルパスの整備について記述。
- 救急医療体制の整備、特に2次救急医療体制の医師不足、3次救急医療機関への軽症患者の集中を防ぐ取り組みについて記述。
- 周産期医療については、県立心身障害児療育センター第二青い鳥学園（岡崎市）に重心病床を整備することについて記述。

## 6. 医療圏計画見直しのスケジュール

日程	会議名	内容
H25.6.5	第1回策定部会	見直しのポイント、今後のスケジュール
H25.6.28	第2回策定部会	素案原稿(たたき台)について検討
H25.7.31	第3回策定部会	素案原案について検討
H25.8.29	第1回保健医療福祉推進会議	素案について検討
H25.10.9	医療審議会医療計画部会	
H25.10.28	医療審議会	
H25.11.20～ 12.19	市町村・三師会への意見照会、パブリックコメント	
H26.1.20	第4回策定部会	修正素案について検討
H26.2.5	第2回保健医療福祉推進会議	最終原案を最終案に
H26.3.17 H26.3.26	医療審議会医療計画部会、 医療審議会(最終審議)	
H26.3末	策定・公示	